

令和4年度第3回連携中枢都市圏ビジョン懇談会 事前意見一覧

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
1	P1	<p>慶長杉の樹齢について</p> <p>智頭町 町内には「慶長杉」と呼ばれる樹齢300年以上の人工林が残り～と記載されているが、慶長杉は1596年～1615年に植えられたと伝わっているようなので、「樹齢400年以上」に変更された方が良いのでは。</p>	<p>諸説ありますが、令和4年3月に智頭町が発行した重要文化的景観「智頭の林業景観」整備活用計画では、「樹齢350年を超す」という公式見解が示されています。ご指摘の記載については、「樹齢350年以上」に修正します。</p>	智頭町企画課	中野委員
2	P4	<p>総合計画策定の記載について</p> <p>総合計画が策定された年の記載について最新の情報を記載すべきではないか            →八頭町 令和2年3月に 第2次 八頭町総合計画 後期基本計画を策定            香美町 令和4年1月に 第2次 香美町総合計画 後期基本計画を策定            新温泉町 令和3年10月に 第2次 新温泉町総合計画 後期基本計画(案)を策定            (新温泉町は案ではなく、すでに計画が策定されている可能性あり)</p>	<p>総合計画の策定期間については、各市町の「まちの将来像」を定めた総合計画基本構想の策定期間を記載していません。</p>	鳥取市政策企画課	中野委員
3	P5	<p>圏域の面積について</p> <p>区分の割合は何の割合を示しているのか、説明が必要。(平地の割合とか)</p>	<p>圏域全体の面積に占める各市町の面積の割合を示したものです。</p>	鳥取市政策企画課	中野委員

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
4	P10~	グラフが示す単位について 単位が欠落しているグラフが散見される。例えば人・数・%など。	ご指摘ありがとうございます。 各表・グラフを再度確認し、単位等記載します。	鳥取市政策企画課	中野委員
5	P20	グラフが示す単位について 表中に%を入れるのではなく、表枠外右上に単位を記載。			中野委員
6	P34	商業に関するグラフについて 元となる資料が平成28年と古い。最新データの有無。	総務省統計局のホームページによると、令和3年経済センサス-活動調査の「事業所に関する集計及び企業等に関する集計」は、令和5年6月公表予定となっております。今後も、各種統計情報の公表時期等確認してまいりたいと思います。	鳥取市政策企画課	中野委員
7	P35	観光の資料について 若桜町、智頭町の記載がないが、観光入込動態調査は行っていないのか。	ご指摘ありがとうございます。 「八頭」とあるのは、正しくは「八頭郡」（若桜町、智頭町、八頭町）ですので修正します。	鳥取市政策企画課	中野委員
8	P44	高等学校の資料について 通信制課程 クラーク記念国際高等学校 記載もれ？	「あすなる高等専修学校 クラーク記念国際高等学校連携校鳥取キャンパス」は、専修学校の分類となるため、P44の「②専修学校と生徒数」の表に含まれています。	鳥取市政策企画課	中野委員
9	P46・47	質問：グラフの記述について (n=229) とはどういう意味か	「n」は圏域住民アンケートの回答者数です。注釈として「n：回答者数」を記載します。	鳥取市政策企画課	中野委員

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
10	P55	<p>圏域全体の生活関連機能サービスの向上について</p> <p>圏域への移住者数：R3年の実績値780 人にた対してR4年の目標値が619 人と下降値であるのはなぜか。P59 では、R9年の目標値895 人である。整合性が取れないのでは。</p>	<p>R4年度の目標値は、平成30年4月に策定した第1期ビジョン（計画期間：H30～R4）において設定した目標値であり、令和3年度実績は、これを大きく上回るものとなりました。令和4年度の実績値は、令和5年5月には判明する見込です。</p>	鳥取市政策企画課	中野委員
11	P95・96	<p>附属資料について</p> <p>第1期ビジョン 圏域への移住者数 R3年実績が780 人 R4年目標が619 人と記載されており、目標値の方が少ないが、記載間違いでは？</p>	<p>第2期ビジョン（計画期間：R5～R9）においては、令和9年度の目標値を設定していますが、各年度の実績等を踏まえながら、毎年度実施する改定の際に、必要に応じて目標値の見直しも検討してまいりたいと考えております。</p>		
12	P57	<p>圏域人口の将来展望について</p> <p>展望人口の年齢3区分別人口割合：令和17 年22 年の1～14 歳の割合が、令和12 年より増加の展望となっているが、無理があるのではないか。</p>	<p>圏域人口の将来展望は、各市町の人口ビジョンに展望している人口を合計したものです。</p> <p>連携中枢都市圏ビジョンや各市町の総合戦略等に掲載する事業に取り組むことにより、圏域全体で若い世代の割合増加につなげていきたいと考えております。</p>	鳥取市政策企画課	中野委員
13	P58	<p>高次の都市機能の集積・強化について</p> <p>「高次の都市機能の集積・強化」の項目の中に医療と交通が一緒に検討されることに違和感あり。また、交通の指標目標が、「東京便の搭乗者数」であることにも違和感あり。観光客向けの施策も必要であるが、最も重要なのは、今、『この地に住んでいる住民』である。持続可能な利便性の高い地域公共交通の確保維持を測れる指標にすべきではないか。</p>	<p>国の定める連携中枢都市圏推進要綱において、「高次の都市機能の集積・強化」の役割として、「a高度な医療サービスの提供」「b高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築」「c高等教育・研究開発の環境整備」「dその他、高次の都市機能の集積・強化に関する施策」の4つの取組が示されています。</p> <p>このため、医療と交通が同じ分野で記載されているものです。</p> <p>このうち交通関連では、地域経済の活性化や雇用創出をはじめ、住民の暮らしの質の向上を支える圏域内唯一の空港「鳥取砂丘コナン空港」の機能強化を測る目標値として「東京便の搭乗者数」を設定する考えです。</p> <p>なお、地域公共交通の確保・維持という視点については、「ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の分野において目標を設定してまいりたいと考えます。</p>	<p>鳥取市政策企画課</p> <p>鳥取市交通政策課</p>	中野委員

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
14	P59	圏域全体の生活関連機能サービスの向上について 基本目標の表中 「地域のバスに対する満足度」とあるが、バスが廃止されているもしくは、廃止される町もある。指標の中身を検討すべきではないか。	「地域のバス」については、民間の路線バスだけでなく、路線バスが廃止や減便となった地域の生活交通を確保するために、自治体や各種地域団体が運行するコミュニティバスも含める考えです。	鳥取市交通政策課	中野委員
15	P62~	各事業の基準値と目標値について 基準値はR4年で目標値はR5年か？	目標年度を特記しているものを除き、基準値は、令和3年度の実績値で、目標値は令和9年度の目標値です。注釈として、「※基準値は、令和3年度の実績値、目標値は令和9年度とする。」を記載します。	鳥取市政策企画課	中野委員
16	P67・P69	「No.18 物産振興体制強化事業」/ 「No.22 外国人観光客受入事業」について 基準値と比べ、大幅に目標値を上げているが、その公算は。	【No.18 物産振興体制強化事業】 基準値は令和3年度の実績で、国内の観光需要も回復途中における数値であり、アフターコロナにおいて購入客数が回復することを見込んで、（平成28年度から30年度の実績を参考に）目標値を設定したものです。	鳥取市経済・雇用戦略課	中野委員
			【No.22 外国人観光客受入事業】 基準値は令和3年度の実績で入国規制や国内の観光需要も回復途中における数値となります。目標値（令和9年度）は入国制限の緩和に伴うインバウンド需要の回復を見込み、コロナ禍前の令和元年度の実績値である13,035人をもとに設定したものです。 昨年10月の入国規制の緩和以降、サポートセンターの月間利用者数は増加傾向にあり、今後も日本を訪れる外国人旅行者の増加が期待されることから、関西方面からの2次交通の充実や効果的なプロモーション展開により、圏域への誘客促進を図る考えです。	鳥取市観光・ジオパーク推進課	